

Unit13 接尾辞とアクセント(3)

- 13-A 単語に接尾辞が付いたときアクセントの位置は変化しないが、アクセントのある音節の母音の発音に変化する単語がある。
- 13-B アクセントのある音節の母音の発音が変わると同時に子音の発音も変化する単語がある。
- 13-C アクセントのある音節の母音の発音が変わり、また母音や子音のスペルが変わる単語がある。
- 13-D 単語に接尾辞が付いたときアクセントの位置が変わり、さらに一つまたはそれ以上の音節で発音が変わる単語がある。

Unit14 接頭辞とアクセント(1)

- 14-A 接頭辞とある単語が組み合わさってできる単語がある。
例えば、dislike では dis の部分が接頭辞 (prefix) にあたる。

よく使われる接頭辞

・ de- ・ il- ・ un-
・ dis- ・ re-

*dislike のように接頭辞 dis を取っても意味の成す単語もあれば、renounce や denounce のように re や de を取ると意味を成さない単語もある。

- 14-B 普通、接頭辞は強調されないが、会話の中で特に対比を強調するときのみ接頭辞が強調される。
- 14-C 接頭辞 de- や re- の付いた単語では、その部分が強調されない場合 /di-/ や /ri-/ という発音になり、接頭辞に第二アクセントがくる場合 /diː/ や /riː/ の発音になる。
また、de- や re- の付く単語のうち、その単語が動詞として使われるとき /ɪ-/ の発音になり、名詞として使われるとき /iː-/ の発音になる単語がある。
- 14-D 接頭辞 re- から始まる単語は、同じスペルでも「再び」という意味かそうではない意味かによってアクセントの位置と意味が異なってくる。